

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マルホ発條工業亀岡工場増築工事	階数	地上3F
建設地	京都府亀岡市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,250時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年4月 予定	評価の実施日	2010年9月8日
敷地面積	17,674 m ²	作成者	田原迫
建築面積	1,414 m ²	確認日	2010年9月10日
延床面積	3,969 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 地球環境にやさしい工場づくり。		その他 建設工事における廃棄物の削減。
Q1 室内環境 昼光利用。 化学汚染物質に配慮した建築材料を選定。	Q2 サービス性能 整形で使いやすい室内空間。 ハートビル法利用円滑化誘導基準の満足。 耐久性の高い内装仕上材料の選定。	Q3 室外環境(敷地内) 既存緑地の保全。 敷地面積の10%以上を緑化。
LR1 エネルギー 高効率型照明器具の採用。	LR2 資源・マテリアル 節水対策による水資源の保護。 エコマテリアルの採用。 有害物質を含まない材料の選定。	LR3 敷地外環境 夏季の卓越風を考慮した建物配置。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい